

平成29年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p> <p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学校から】学校から保護者へは、学校便り、学年通信、学級通信などを通して、学校や生徒の様子を伝えてきた。また、様々な個性や特性を持った生徒がいるが、担任一人に対応するのではなく、組織として丁寧に対応するようにしているため、生徒・保護者の評価は「3」「4」が多くなっているのかもしれない。一人一人の児童生徒の尊重で、保護者評価の「2」の割合が昨年よりは減っているが、17%もあるので、保護者との連携を図りながら生徒の指導・支援にあたって生きたいと考えている。また、道徳・心の教育の充実に関しては、道徳の授業の様子などを通信等でお伝えしていく必要があると思われる。

### ②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学校から】意欲的な学習態度に関しては教職員や保護者の評価と、生徒の評価の開きが大きい。生徒が考える学習意欲と特に教職員が考える学習意欲とではとらえ方が異なるのではないかと考えられる。学習への取り組み方の再確認や自己評価等を取り入れることで、生徒自身の学習に向かう姿勢を見つめなおさせたい。授業力向上に関しては生徒・保護者からは「3」の割合が大きいが、「2」の割合も2割程度ある。一人一人の生徒に応じた指導を工夫したい。ICT活用に関しては、教師によって活用に差があることが教職員と生徒・保護者の評価の差に現れていると考える。より一層の活用を呼びかけたい。

### ③健やかな体を育む教育の推進

#### 7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

保護者  
生徒  
教職員

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】本校は給食の残食が多いため、教職員としては好き嫌いをもう少し減らしたいという思いがあるため、評価に差があると思われる。今後は少しでも残食が減るような工夫をしていきたい。

### ④特別支援教育の推進

#### ①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学校から】児童生徒理解に関しては、「3」「4」の評価が、昨年度と比べると生徒の評価で5%、保護者の評価で8%増加している。これは人権尊重の精神を基盤にしている本校の学校教育目標を職員が実践している成果だと考えられる。いじめや問題への対応も生徒の評価では「3」「4」の割合が5%増加している。しかしどちらも2割前後の保護者からは否定的な評価をいただいているので、より一層一人一人の生徒を大切にしたい対応を心がけていきたい。学校の支援体制については、教職員の評価が9%下がっている。これは個別の対応が必要な生徒が多く、対応が十分にできていないという反省からであると考えられる。担任任せにするのではなく、学年や学校全体の組織としての対応をより充実させたい。

### ⑤子どもたちの身近な安全対策の充実

<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> <p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

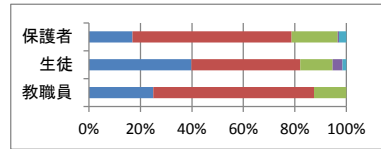
【学校から】「3」「4」の割合は昨年度とほぼ同じではあるが、生徒評価の「4」が高い割合を示している。このことは一人一人の職員が、よく生徒に目を向け、安全面に配慮した言葉かけをしていることが表れていると思う。今後も配慮を怠らないようにしたい。

【学校から】昨年度と比べ、教職員と保護者の評価が8～9%上がっている。危険箇所があればすぐに報告してもらい、学校主事が中心となって整備をしているが、施設が古く手が回っていないところもあるので、早めに改善を進めたい。

### ③家庭・地域社会との連携強化

#### 13 教育方針・目標の理解

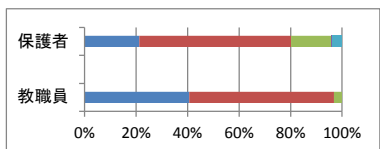
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



【学校から】教育方針や目標に関しては、学校便りや校長の話などで伝えてはいるが、2割強の保護者は不十分ととらえている。校長からだけではなく、担任や生徒会等からも発信していきたい。家庭や地域との連携に関しては、保護者と教職員との間で評価に差が見られる。本校は地域からの協力が大きい校区である。この良さを生かしてきていないことが伺われる。保護者との連携・協力のあり方を考えたい。

#### 14 家庭や地域との連携協力

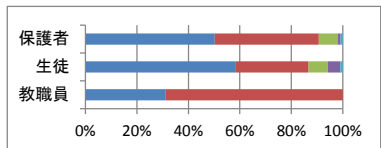
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



### ⑧本校の教育

#### 15 1

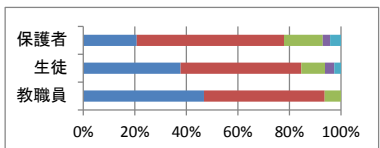
生徒は、楽しく学校に通うことができると思いませんか。



【学校から】学校が楽しいと感じている生徒が87%であるが、残りの1割強の生徒はそうではないと感じていないことを考え、きつい思いをする生徒が一人でも減るように、一人一人に寄り添う指導を続けたい。教職員の連携に関しては、十分ではないと捕らえている保護者が2割以上いるが、昨年度よりは8%伸びている。組織で対応するという姿勢を継続し、保護者が安心して生徒を通わせることができる体制を整えたい。授業の中でのめあては、本来ならば教職員は「4」がもっと高い割合とならなければならない。ねらいを明確に与え、そこに達するためにはどのような工夫が必要かをじっくりと考えて授業を作り、生徒を主体的に活動させていく授業づくりを進める必要がある。

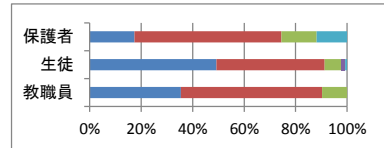
#### 16 2

あなたは、報告・連絡・相談を密にして、連携して生徒の指導にあたっていると思いますか。



#### 17 3

あなたは、授業の中で目標（めあて、ねらい）を示すことができますか。



### 来年度の具体的な取り組みについて

- 「毎日の記録」やきずなアンケート等を通して、生徒一人一人を理解し、丁寧な対応を対応を心がけることで、生徒が安心して過ごすことができ、保護者から信頼していただける学校づくりをさらに進める。
- 学校教育目標は、学校便りや学級通信と共に、生徒会活動等を通して、教職員だけでなく生徒や保護者も意識していけるような工夫をする。
- 学習意欲を伸ばし、基礎学力を身につかせるために、ICTの活用をはじめとする魅力ある授業づくりを進めると共に、授業のめあてと手立てを明確にし、学習内容が確実に身につくような授業展開を工夫する。
- 授業の中で、生徒が主体的に学ぶ場と客観的に自分の学びを振り返る場を設定することにより、自ら学んでいこうという意欲を育てる。
- 学校保健委員会の活動をさらに充実させ、食事と運動、睡眠の大切さをさらに伝えることで、生徒が自分の健康についての意識を高められるようにする。
- 地域・保護者からの協力が得やすいという本校の利点を生かし、教職員の側からも保護者との連携を深めようという意識を持つ。
- 教職員の連携をさらに強めるために、必要な情報を各学年や学校全体で共有すると共に、特別な支援や指導が必要な生徒に対しては、複数で丁寧な対応をする。また、必要に応じてSCやSSWの積極的な活用を勧める。
- 毎学期、本校の課題や成果を教職員が自ら考える場を設け、出された課題を解決するための方策も考え、実行にうつす。

### 学校関係者評価

- 一番大切な、「学習」に関する評価が、学校と生徒、保護者に開きがある。何を以て「意欲的に」授業に取り組んでいるのかと言う基準がはっきりしていないのではないだろうか。
- 給食の残食が近隣校と比べて多いということであるが、給食の時間が短いのではないだろうか。
- 不登校の生徒がいるということであるが、3年生などは進路決定が近づくにつれて改善している生徒もいるということで、安心している。
- 新聞等にも部活動に関する記事が載っているが、先生方の負担も大きいのではないだろうか。
- 進路面、特に就職の希望者はいないのだろうか。目的もなく進学し、途中でやめるといった生徒も多いと聞いている。
- 校舎の床が滑りやすいところがあった。実際に見てもらおうとして、改善してほしい。
- ハートフル城南フェスティバル（学習発表会）では、せっかく生徒たちが頑張っすばらしい発表などを行っているのに、保護者席からは前に座っている生徒たちが大きくて、よく見えなかった。来年度はできるならばステージか座席を工夫して、観客が見やすくなる工夫をしてほしい。